

～適期の刈り取りで収量・品質を確保～

1 8月19日現在の生育状況 ～穂数少なく、一穂粒数多い～

表1 水稻定点調査結果（8月19日）

	穂数 (本/m ²)	一穂着粒数 (粒/穂)	m ² 当たり着粒数 (粒/m ²)	出穂期 (管内全域盛期)
本年	414	78.3	32,426	8月4日
平年	487	67.0	32,537	8月4日
平年比	85%	117%	100%	±0

品種：あきたこまち、管内5カ所平均

- 管内では、7月末頃から出穂期に達したほ場が見られており、管内全域の出穂盛期は平年並の8月4日となりました。
- 穂数は、6月上旬の低温・少照や、6月下旬の日気温較差が小さく、少照で経過したことにより、分けつの発生が抑制され、茎数が少なくなったことで、平年比85%と少なくなりました。
- 一穂着粒数は、幼穂形成期（7月15日頃）から減数分裂期（7月25日頃）にかけて、葉色が概ね維持されていたことにより、平年比117%と多くなりました。
- m²当たり粒数（m²当たり穂数×一穂着粒数）は、一穂着粒数は多いものの、穂数が少ないことから、平年並となりました。

2 斑点米カメムシ類防除～収穫2週間前まで畦畔・農道の草刈り禁止～

- 8月9日に病害虫防除所から、農作物病害虫発生予察情報注意報第2号（水稻 斑点米カメムシ類）が発表されました。
- 本年は斑点米カメムシ類の発生が多いことから、斑点米被害に注意する必要があります。
- 斑点米カメムシ類を効率よく防除する対策として、草刈り禁止期間を設けています。収穫2週間前までは草刈りを行わないようにしてください。

3 刈り取り ～適期の刈り取りで品質低下防止～

刈取適期の判断基準

- ①出穂後の日数
早生品種で45日前後、中晩生品種で50日頃
- ②籾の熟色
葉や穂首が緑色であっても籾の黄化程度が90%（黄色＋黄白色の割合）の頃
- ③枝梗の黄化程度
穂の主軸の上から5番目までの枝梗が黄化した頃
- ④出穂後の積算気温：出穂期翌日から日平均気温を積算した値（表2参照）
早生品種（あきたこまち等）・・・950～1,050℃
中晩生品種（めんこいな等）・・・1,050～1,150℃

表2 出穂後の積算気温による到達日予想

出穂期	950℃	1000℃	1050℃	1100℃	1150℃
	早生品種「あきたこまち」等				
			中晩生品種「めんこいな」等		
7月29日	9月10日	9月13日	9月15日		
8月1日	9月14日	9月17日	9月19日	9月22日	9月25日
8月4日	9月18日	9月21日	9月24日	9月27日	9月30日
8月7日	9月22日	9月25日	9月28日	10月1日	10月5日

8月21日までは実況値、8月22日以降は平年値で計算

- 本年の出穂盛期の8月4日出穂のあきたこまちでは、9月18日～24日頃が積算気温から推測した刈り取りの目安となります。
- 籾の熟色や枝梗の黄化程度を観察し、刈り取り適期を見極めてください。